

令和7年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 か所につき 1 枚)

会派名	国民民主党	
出席者	渡邊愛彦	
事業名	令和7年度NPO法人多摩住民自治研究所第59回議員の学校の議員研修「財政危機を乗り越える」に参加	
事業区分	①研究研修	②調査

1. 韮崎市での課題と研修・調査の目的

韮崎市の財政状況は、公共施設や市立病院に対する補助金が増加するなどの影響で、財政調整基金が大幅に減少するなど厳しい財政状況にある。本市のこのような状況を改善する手法を学ぶべくNPO法人多摩住民自治研究所が主催した「財政危機を乗り越える」というテーマの議員研修会に参加した。自治体財政についての理解を深め、議会質問などに役立て、市財政改善に貢献したいと考える。
--

2. 実施概要

実施日時	令和8年1月30日～1月31日
視察先	オープンイノベーションフィールド多摩国分寺館での研修に参加
担当部局	NPO法人多摩住民自治研究所主催
報告内容	令和8年1月30日～31日に実施されたNPO法人多摩住民自治研究所主催の「財政危機を乗り越える」をテーマとした2日間の議員研修に参加した。講師は立命館大学政策科学部の森 裕之教授他。講義の内容は「自治体財政の基本と財政危機の正体」「新年度の地方財政計画と自治体予算への影響」「予算審査をリードする視点・論点・攻めどころ」で、まさに聞きたい内容だった。更に「財政に強い現役議員が語る、予算議会、私ならこう臨む」というテーマでの講演もあり、大変参考になった。本市財政の現状把握と課題の確認、それに対する対応方法などを良く理解できたので議会質問に活かしたい。

感想（まとめ） ・ 市政に活かせること	1. 運営状況 NPO法人多摩住民自治研究所が主催する研修会への参加は今回初めてだった。主催者はとても良心的で参加者への配慮を感じた。講師の講義は実戦的で分かりやすく、本市の財政改善に役立つものだった。また、現役の市議会議員2名による講演もとても参考になった。他市からの参加議員とも意見交換ができたことも良かった。
	2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか） 研修で自治体財政の原則や審査のポイントを理解できたので、韮崎市の予算や決算を分析し、近隣自治体や類似自治体とも比較し、問題点や課題を把握の上、議会質問につなげて行きたいと思った。

※写真等がある場合は添付すること